



長工校長通信

スローガン「長工生よ、地域を潤す源流となれ！」

第1号

山形県立長井工業高等学校
2026年4月13日発行

校長通信の発行について

校長視点による学校の情報を本通信で発信してまいります。

第1号では、4月7日始業式、4月8日入学式の式辞を掲載いたします。



野川から見た校舎と桜



校舎から見た残雪の長井葉山と桜

始業式（式辞）

いよいよ2026年度、令和8年度のスタートです。皆さんは新たに2年生、3年生となり、今日から新たなステージでの学校生活が始まります。新年度のスタートにあたり、皆さんはどのような決意を胸に登校してきたでしょうか。昨年度以上に学習に取り組む、部活動で目標達成へ努力する、進路目標を実現する、などそれぞれあると思います。ぜひ、その今の気持ちを大事にしてください。年度初めなどの節目に気持ちを新たにすることは大切なことです。

さて、今年度のはじめに皆さんに確認してほしいこと、考えてほしいことを3点伝えます。

1点目は、「生命（いのち）が第一」とであるということです。生活できるのも、学校に来ることができるのも、生きているからできることです。「生命（いのち）」はかけがえのないものです。自分の生命（いのち）を大切にすることはもちろん、目の前の友人の生命（いのち）、他者の生命（いのち）を等しく尊ぶこと。これがすべての活動の出発点です。自分を慈しみ、他者を思いやる。その温かな気持ちが、この学校を安全で安心できる場所として維持していくことができます。

2点目に、「自分と向き合い、他者と関わる」ということです。「ありのままに」自分を見つめる勇気を持ってください。自分の弱さも強さも認め、自分自身と対話すること。それが自律への一歩です。同時に、私たちは一人では生きていけません。多様な考えを持つ他者と関わり、対話を重ねる中で、自分一人では気づけなかった新しい視点に出会うことができます。「ありがとう」の心で他者とつながることが、皆さんの世界を広げてくれます。

ここで、これら2点のことから、他人が嫌な気持ちになる言動、いわゆる「いじめ」は、絶対許されない、あってはならないということです。人と人が関わればうれしい楽しい思いだけではなく、苦しい辛い思いもあるのは当然です。行き違い、思い違いはあります。しかし、故意に、意図して、相手の心身を傷つけることはあってはなりません。もしも、困っていることがあれば、どの先生にでも構わないですので相談してください。

3点目に、「学びの大切さ」についてです。なぜ私たちは学ぶのでしょうか。それは、知識を得るためでしょうか。もちろん、知識を得ることも大切ですが、それは、生きたいように生きていくための「力」を身につけるためです。様々な力がありますがその中でも、目の前の事象の背景に何があるのかを「想像」する力、想像力。そして、学んだことを活かして、より良い未来や、新しい自分を「創造」していく力、創造力が大切です。今のことばに二種類のソウゾウの漢字を思い浮かべたでしょうか。「背景に何があるのかソウゾウする力」はimaginationの想像力、「新しい自分をソウゾウする力」はcreationの創造力です。知識がなければ想像はできません。当然、創造もできません。この「二つのソウゾウリョク」こそが、皆さんの人生を豊かにし、社会を切り拓く武器になります。今、日本国内や世界で起きている出来事には、想定外のことが溢れています。身近なクマの出没や異常気象、そして国家間の紛争。これからも先の読めない時代が続くでしょう。そこをどう生き抜いていくか。その方法を見つけることこそが、今の、そしてこれからの『学び』です。学びながら、考え抜いていってください。

さて、皆さんは地域の方々から高い期待と数々の支援を受けていることを実感しているのでしょうか。私は4月に着任してから、長井市の内谷市長さんをはじめ、地域の方々とお目にかかりましたが、その方々から、長工生のこれまでの貢献度の高さと今後の期待の声を聞きました。地域の方々は、長工生皆さんの心強い、力強い応援団です。そして、皆さんの取り組みや活動は地域の方々にとって明るい話題であり、地域を元気にしていることを是非覚えていてください。

結びに、皆さんの今年度一年が、生命の輝きに満ち、実り多いものになることを期待して、式辞といたします。

入学式（式辞）

長く厳しかった冬がようやく明け、ここ長井の地に春の風が柔らかに吹き、豊かな自然の中に生命の輝きを感じる季節となりました。この春の佳き日に、第65回山形県立長井工業高等学校の入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同、大きな喜びであります。

ただ今、入学を許可いたしました32名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは今日から、この伝統と実績のある長井工業高校の一員となりました。皆さんの入学を、在校生、教職員一同、心から歓迎いたします。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。今日まで深い愛情で支えてこられたお子様が、高校入学という新たな門出を迎えられたことに、喜びもひとしおのことと存じます。私たち教職員一同、お子様の成長を全力でサポートしていく決意でございます。

来賓の皆様には、ご多用のところ、ご臨席を賜り、新入生を祝福していただき、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、今日から本校での生活を始める皆さんに、本校の教育目標に触れながら、大切にしてほしい三つのことをお話します。

第一に、「豊かな人間性を育み、生命・命を慈しむ」ということです。本校が掲げる「人間性の育成」とは、責任感と協調性を重んじ、礼儀正しく思いやりのある心を育てることです。その根底にあるのは、かけがえのない「生命・命」の尊厳です。まずは自分自身の生命を第一に大切にしてください。自分を慈しみ、自分と真摯に向き合うことで、初めて他者の痛みや喜びを想像することができます。自分を信じ、そして他者を尊重する。多様な友と関わり、互いの良さを認め合う「協働の姿勢」を、この三年間でじっくりと養ってください。

第二に、「確かな学力を基盤に、創造性を発揮する」ということです。二つ目の教育目標に「創造性の育成」を掲げています。皆さんが学ぶ専門的な知識や技術は、これからの社会を生き抜くための大きな力となります。しかし、学びとは単に正解を覚えることではありません。目の前の課題に対し、「なぜだろう」と問いを立て、自らの手で新しい価値を生み出すプロセスこそが学びの本質です。私は皆さんに、二つの「ソウゾウリョク」を磨いてほしいと願っています。一つは、他者の背景や未来を思い描く「想像力・imagination」。もう一つは、学んだことを形にし、新たなものを生み出す「創造力・creation」です。失敗を恐れず、主体的に「やってみよう」と挑戦する、たくましい実践力を身につけてください。

第三に、「ものづくりを通じ、社会とつながる」ということです。三つ目の教育目標は「社会性の育成」です。本校の特色である「ものづくり」や地域と連携した活動は、社会に貢献する喜びを知る絶好の機会です。自分の技術が誰かの役に立ち、地域を笑顔にする。その経験は、皆さんに「自分は社会に必要とされている」という確信を与えてくれます。本校のスローガンである「長工生よ、地域を潤す源流となれ！」という言葉の通り、地域に学び、地域に貢献し、社会の一員としての自覚を深めていってください。

本校に対する地域からの期待は極めて高く、物心両面で多くのご支援をいただいています。地域の方々は、長工生皆さんの心強く、力強い応援団です。皆さんの学習、部活動、生徒会活動等の取り組みは、地域の方々にとって明るい話題であり、地域を元気にしていることを是非覚えていてください。

保護者の皆様、今、新入生の皆さんに期待することを申し上げました。新入生一人ひとりの成長のために、本校教職員一丸となり努めてまいります。お子様の成長のために、家庭と学校がお互いに連携し、協力し合うことが大切であります。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

併せて、ご来賓の皆様はじめ、地域の皆様、関係の皆様方にも、本校教育活動に対し、これまでと変わらぬご助言とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、新たに長工生として一歩を踏み出した新入生の皆さんに、心からエールを送り、式辞といたします。



校舎から見える飯豊山と桜

終わりに

校舎の窓から、西に長井葉山、南に飯豊山、吾妻山を望み、野川のほとりに位置する本校。この立地同様、長井・西置賜の皆様を支えられていることを実感いたします。これからも、地域の皆様との連携を大切にまいります。引き続きのご支援、ご声援をお願いいたします。

校長 川井良彦